

ベンチアバリカルブイソプロピルとマンゼブを  
有効成分とする新規の混合殺菌剤

農林水産省登録  
第23184号

新発売

技術資料

殺菌剤

# カンパネラ

## 水和剤

®はクミアイ化学工業㈱の登録商標

2つの成分が手を取り合い  
べと病・疫病をしっかりと防除



きゅうり



ぶどう



トマト



# カンパネ

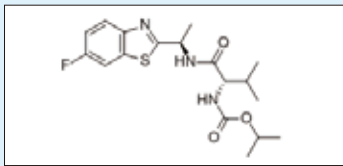
ベンチアバリカルブイソプロピル・マンゼブ

## 特長

1. べと病・疫病に対して高い防除効果を示し、予防と治療効果を備えています。
2. 浸達性と浸透移行性を有し、高い耐雨性を示します。
3. 2つの有効成分の補完作用によってべと病・疫病の多くのライフステージを阻害し、安定した防除効果を発揮します。
4. 作用点の異なる2つの有効成分により薬剤耐性菌の発達リスクを抑えます。

## 有効成分

### ベンチアバリカルブイソプロピル

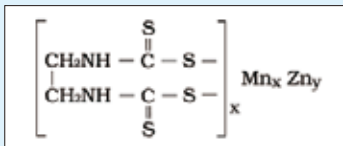


べと病菌・疫病菌などの卵菌類に属する病原菌に対し、特異的に低濃度で抗菌性を示します。

遊走子のう形成、遊走子のう直接発芽、被のう胞子発芽、菌糸生育(病斑拡大)を阻害するので、予防効果と治療効果を発揮します。

浸達性および茎部から上位葉への移行性を有しています。

### マンゼブ



成分が浸透移行せず植物の表面上に残存することにより病原菌の感染を強く阻害します。付着性、耐雨性に優れているので予防散布により安定した効果を示し、残効性も有しています。

多作用点阻害剤であるので、耐性菌発生のおそれが少ない成分です。

## 安全性

### ○人畜毒性・・・普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

- |                                 |                                |                                |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 急性経口毒性 | <input type="checkbox"/> 皮膚刺激性 | <input type="checkbox"/> 皮膚感受性 |
| ラット(♀) : LD50>2000mg/L          | ウサギ(♀) : 軽度刺激性                 | モルモット(♀) : 陽性                  |
| <input type="checkbox"/> 急性経皮毒性 | <input type="checkbox"/> 眼刺激性  |                                |
| ラット(♂) : LD50>2000mg/L          | ウサギ(♀) : 中等度刺激性                |                                |
| ラット(♀) : LD50>2000mg/L          |                                |                                |

### ○水産動植物

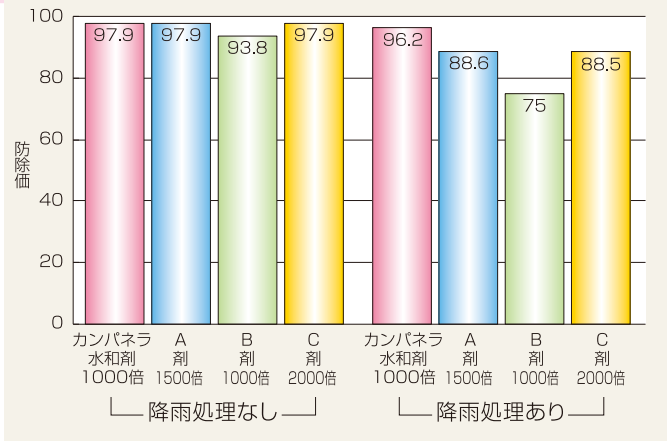
- |                                       |                      |
|---------------------------------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> コイ(LC50)     | : 3.84mg/L (96hr)    |
| <input type="checkbox"/> オオミジンコ(EC50) | : 2.74mg/L (48hr)    |
| <input type="checkbox"/> 緑藻(ErC50)    | : 0.540mg/L (0-72hr) |

## 有用昆虫・天敵に対する影響

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| セイヨウミツバチ  | : 影響なし(散布翌日導入可) |
| オンシツツヤコバチ | : 影響なし(散布翌日導入可) |
| ミヤコカブリダニ  | : 影響なし(散布翌日導入可) |



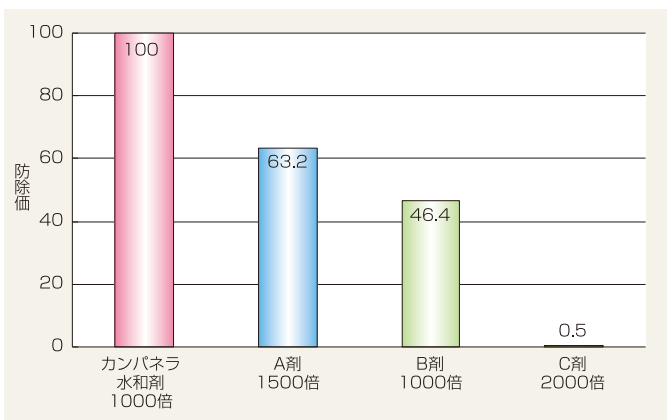
トマト疫病  
(耐雨性)  
ポット試験



カンパネラ水和剤の防除効果に及ぼす降雨の影響は少なく、対照剤と同等以上の耐雨性が認められました。

試験場所: クミアイ化学工業(株)生物科学研究所 ガラス温室  
 作物: トマト(ポンテローザ)、第5複葉期  
 区制: 1区1ポット、3反復  
 散布・接種日: 2011/12/26 (展着剤: クミテン 5000倍加用)  
 調査日: 2011/12/29  
 降雨処理: 薬剤散布5分後に240mm/h、2hの人工降雨処理を行った。  
 接種方法: 降雨処理風乾後、遊走子囊懸濁液を噴霧接種  
 調査方法: 接種した全複葉について発病指数別に調査し、発病度から防除値を算出した。  
 無処理区: 発病度100

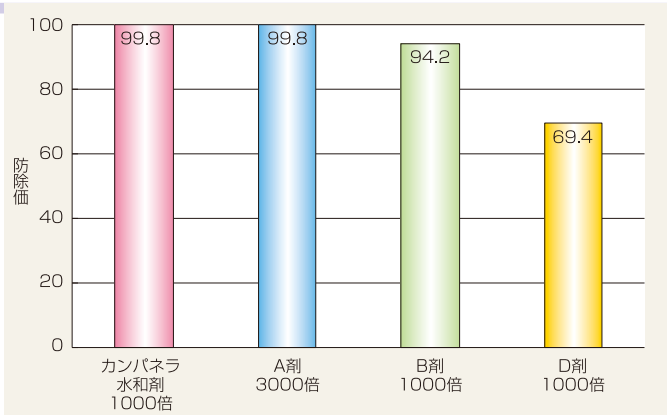
トマト疫病  
(治療効果)  
ポット試験



カンパネラ水和剤は感染初期の治療効果も期待でき、対照剤に優る治療効果が認められました。

試験場所: クミアイ化学工業(株)生物科学研究所 ガラス温室  
 作物: トマト(ポンテローザ)、第5複葉期  
 区制: 1区1ポット、3反復  
 接種日: 2012/2/6  
 接種方法: 遊走子囊懸濁液を噴霧接種  
 散布日: 2012/2/7 (展着剤: クミテン 5000倍加用)  
 調査日: 2012/2/10  
 調査方法: 接種した全複葉について発病指数別に調査し、発病度から防除値を算出した。  
 無処理区: 発病度67.9

ぶどうべと病  
圃場試験



圃場試験においても対照剤と同等以上の防除効果が認められました。

試験場所: クミアイ化学工業(株)生物科学研究所 圃場  
 作物: ぶどう(カベルネ・ソーヴィニヨン)  
 初発確認: 2011/6/10  
 区制: 1区1樹、3反復  
 散布日: 2011/6/15、6/28、7/6 (展着剤: クミテン 5000倍加用)  
 調査日: 2011/7/15  
 調査方法: 各区の葉100枚(葉裏)について発病指数別に調査し、発病度から防除値を算出した。  
 無処理区: 発病度97.1

委託  
試験概評

作物名	病害名	試験年度	試験場名	発生程度	希釈倍数	対照薬剤	対照薬剤希釈倍数	対対照	対無処理	判定	薬害
ぶどう	べと病	H23	日植防茨城	多	1000倍	a剤	1000	A	A	A	-
		H23	長野果	中	1000倍	a剤	1000	B	A	A	-
		H23	佐賀果	甚	1000倍	a剤	1000	A	B	A	-
きゅうり	べと病	H23	福島	中	1000倍	b剤	1000	B	A	A	-
		H23	日植防茨城	多	1000倍	b剤	1000	B	B	B	-
トマト	疫病	H23	日植防茨城	甚	1000倍	a剤	1000	A	B	B	-
		H23	神戸大(病)	中(接種)	1000倍	b剤	1000	B	A	A	-
		H23	日植防高知	多	1000倍	b剤	1000	A	A	A	-



## 混用事例 一覧表

殺虫剤	ぶどう	きゅうり	トマト
アーデント水和剤	○		
アクタラ顆粒水溶剤	○	○	○
アグロスリン水和剤	○		
アグロスリン乳剤		○	○
アディオン水和剤	○		
アディオン乳剤		○	○
アディオンフロアブル	○		
アドマイヤー顆粒水和剤	○	○	○
アドマイヤー水和剤	○	○	
アフーム乳剤		○	○
アブロードフロアブル	○		
ウララ DF		○	○
エコマスター BT			○
エスマルク DF			○
オルトラン水和剤	○		
カスケード乳剤		○	○
カネマイトフロアブル	○		
コテツフロアブル	○	○	○
コルト顆粒水和剤	○	○	○
コロマイト乳剤		○	○
サムコルフロアブル10	○		
サンマイトフロアブル		○	○
スカウトフロアブル	○		
スタークル顆粒水溶剤		○	○
スピノエース顆粒水和剤		○	○
スプラサイド水和剤	○		
スミチオン水和剤 40	○		
ダントツ水溶剤	○	○	○

殺虫剤	ぶどう	きゅうり	トマト
ディアナ SC			○
ニッソラン水和剤	○		
パダンSG水溶剤	○		
ハチハチ乳剤		○	○
バロックフロアブル	○		
ピラニカ水和剤	○		
フェニックス顆粒水和剤		○	○
プレオフロアブル		○	○
プレバソnfフロアブル 5		○	○
フローバック DF			○
ベストガード水溶剤	○	○	○
マイトコーネフロアブル		○	○
マブリックEW	○		
モスピラン水溶剤	○	○	○
モレスタン水和剤		○	○
ロディー水和剤	○		

殺菌剤	ぶどう	きゅうり	トマト
カンタスドライフロアブル	○		
ゲッター水和剤	○		
スイッチ顆粒水和剤	○		
パスワード顆粒水和剤	○		
ファンタジスタ顆粒水和剤	○		
フルピカフロアブル	○		
ベンレート水和剤	○		
ポリベリン水和剤	○		
ロブラール水和剤	○		

○: 混用して問題なかった事例

### 〈混用事例表についての注意事項〉

1. 使用者が混用する際の目安となるように、物理化学性・薬害等の試験例・事例を参考にまとめました。  
混用事例を紹介するもので、混用を薦めるものではありません。
2. 全国的に見た一応の目安として作成しており、地域・産地で経験や知見がある場合は、優先させてください。
3. 農業は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象・栽培条件などによって薬害を生じる場合があります。
4. 2013年3月15日現在の登録内容に準じて作成しています。  
その後、登録内容が変更される場合もありますので、農業の使用前にはラベルで適用内容の確認を行ってください。



## 適用病害と使用方法

本資料は2013年3月現在の登録内容に基づいています。

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチアバリカルブ インプロピルを 含む農薬の 総使用回数	マンゼブを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	べと病	1000倍	200~ 700L/10a	収穫 45日前 まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
きゅうり			100~ 300L/10a	収穫 前日まで	3回以内			3回以内
トマト	疫病	2回以内			2回以内			

## 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用は避けてください。
- ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生ずるおそれがあるので避けてください。
- 極端な高温多湿条件では、軟弱幼苗に薬害のおそれがあるので注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。
- 作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けてください。
- 夏期高温時の使用を避けてください。
- 使用残りの薬液が生じないに調製を行い、使いきってください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
- また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。